

公開請求の内容及び処理状況

[illegible]

別紙

浪速区の令和5年度運営方針には次の記載があります。

経営課題1 安全・安心で住みやすいまちづくり

課題認識

・災害に備えた自助の取組の重要性、自宅避難推奨に伴う備蓄をしている家庭の割合が多いことから、備蓄の重要性について情報発信に努める必要がある。

主な戦略(課題解決の方策)

・災害に備え、自助や共助の取組を促進するとともに、減災のための環境整備等を進める。

アウトカム指標

・令和7年度末までに、区民アンケートにおいて、家庭で備蓄していると回答した人の割合:50%以上(5年度:47% 6年度:48%)

アウトカム指標の達成状況(定量評価)5年度実績と達成状況

・区民アンケートにおいて、家庭で備蓄していると回答した人の割合:56.7% A

アウトカム指標には「回答した人の割合」と記載されています。

1. 「区民アンケート回答者の割合」で「備蓄している」区民が増え、「安全・安心で住みやすいまち」できたかどうか判断できるとする根拠が記載された文書を公開してください。

2. 「区民アンケート回答者の割合」と「安全・安心で住みやすいまち」の間にどのような相関関係が存在するのかが分かる文書を公開してください。

浪速区は裁決書(令和3年7月30日付大浪総企第8号)において、区民アンケートに関して「区役所が行うアンケート調査の結果をあくまで当該各調査の回答者の回答状況にとどまるものとして取り扱っている」と説明しています。

3. 区民アンケートの結果をアウトカム指標として取り扱うことは、この「回答者の回答状況にとどまるものとして取り扱っている」との説明とは明確に矛盾していますが、この矛盾についてどのような整合性があるのかが示されている文書を公開してください。

アウトカム指標の達成状況に記載された56.7%は令和5年度浪速区区民アンケートの問13の結果であり、「達成状況」の「A」はこのアンケート結果に基づき判断されたものです。

4. この区民アンケートの結果データで達成状況を「A」と判断できるとする根拠が示された文書を公開してください。

なお、この「A」との判断が区民アンケートの結果のみで行われたものではないとするのであれば、この「A」との判断にあたり用いたすべての根拠が示された文書を公開してください。

区民アンケートにおける「家庭で備蓄していると回答した人の割合」は令和元年度から順に39.4%、42.8%、42.4%、46.7%、56.7%となっています。特に令和4年度から令和5年度にかけては10ポイントもの急増となっています。

5. このような値の変化が区民の状態(備蓄をしているかどうか)の変化を表しているとする論理的根拠が記載された文書を公開してください。